

キッズみんなの日記

7月号

新日記制度がスタートして、一ヶ月がたちました。多くの塾生が、原稿用紙の使い方にも慣れ、文章も添削することによって上達しています。この調子で、楽しく続けていきましょう。作文力を向上させる一番の近道は、上手な文章のよいところをまねることです。優秀作品を紹介しますので、ぜひ参考にしてみてください。

優秀作品紹介

★初級者(一・二年生)の部★
きょうは、おじいちゃんのはたけに、おてつだいにいきましました。えだまめほりをしました。

よるに、おじいちゃんのおたんじょうびだったので、おじいちゃんのおうちでたんじょうびかいをしました。たのしかったです。(小一・MTさん)

いつ、どこで、なぜ、何をしたらか、また、どう思ったかがきちんと書いていますね。一年生ながら、立派な文章です。

★★中級者(三・四年生)の部★★
カレーのお手伝い

今日は夜ごはんがカレーなので、お手伝いをしました。

さいしよは、お肉をいためて、野さいをいためました。だんだん、うでがいたくなってきたけれど、がんばってまぜました。出来上がったカレーを弟が、「お姉ちゃん、おいしいよ。」

と言って、おかわりまでしてくれました。もっともっと料理をおぼえたいです。(小四・AYさん)

弟のことばで、自分の気持ちの前向きになったことを、会話文を入れて、上手に表現できていますね。お手伝いの中で、苦勞した点もきちんと書かれています。

★★★★上級者(五・六年生)の部★★★★
うれしかった認定会
今日、ユアーがあった。ぼくは、今日認定会があるのでドキドキしていた。着がえて中に入った。

練習はクロールを少しやった。そして、認定会が始まった。ぼくは一番はじめなので、飛び込む時、きんちようしていた。飛びこみはうまくいかなかったけど、最後まで泳ぎきった。プールサイドに上がった時、両手両足が重く感じた。結果発表の時、ぼくはすぐドキドキしていた。でも、合格、と言われてぼくは、「やったー。」

と思わずさげんだ。ぼくはとてもうれしかったです。(小五・RTくん)

短い文をつなぐことで、緊張感を上手に表現しましたね。また、がんばった、疲れた、とは表現せずに「両手両足が重い」と表現したところが素晴らしい。

●優秀な作品が多かったにもかかわらず、紙面の都合ですべてを紹介できず残念です。現在、算数のみを受講している塾生も、ぜひこの機会に、国語の受講も検討してみてくださいいかがですか？

ちよっさひびき

編集長市澤祥子の気まぐれコーナー

蟹(かに)と蚊(か)

三才になる息子が、「ほり、見て。こゝ、かにくわれちゃったよ。」

我が家では、蟹をベットのしている覚えもない。あれこれ考えている私の横で、必死に訴える彼の腕を見てみると、確かに何かに喰われた跡がありました。そう、蚊に喰われたのです。

「かに、ではなくて、か、でしょう。」

と、私が言うと、こっくりとうなずき、

「かにに、くわれちゃったね。」

と、相変わらず無邪気に間違えています。さうい、

「かが、いたあ。」

とまで、言い出す始末です…。しかし、こんな間違いも、来年になれば聞けなくなり、懐かしく思い出すのもいいかもしれません。

さてさて、このお話を読んで笑ってくれた、その君！笑い事ではないですよ。なんと、まあ、こんな微笑ましい間違いが、皆さんの日記の中にもたびたび登場するではありませんか。『自転車のがき(かぎ)』『や』『一きよう(きゆう)に合格する』などなど。

どうぞ、自分の書いた日記を読み返し、間違いはないか、確認してください。皆さんは、自分の間違いに気づき、それを直す能力があるのですから。

